

長崎県幼児教育センターだより



No. 10



2024. 12. 19



よいお年をお迎えください！

11月の暑さに比べ、12月は気温も下がり、一気に冬がやってきたという感覚ですが、気が付くともう年末。皆様におかれましては、師走の慌ただしい日々を送りながら、年末年始の準備をされていることと思います。

今年も幼児教育センターへの訪問依頼をはじめ、各研修会への多くのご参加、誠にありがとうございました。「学ぶ保育士等応援事業」も始まり、より多くの皆様とお会いすることができて、幼児教育センター職員も大変うれしく思っております。2025年もこのような出会いを大切にしながら、幼児教育・保育の質の向上を目指してまいります。

今年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

公開保育がありました

幼児教育の質向上へ向け、先生方がその専門性を高めるための有効な手段として、まず、公開保育が挙げられます。設置者や施設類型を越えて行われる公開保育によって、地域一体で幼児教育の質を高め合い、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園の横のつながりも生まれるなどの重要な役割となっております。

先日、対馬市と大村市で公開保育がありました。保育を参観して協議することのよさが十分に感じられ、また、そこに小学校教員が参加することで、互いの理解が深まる有意義な時間となりました。

対馬市立厳原幼稚園 10月25日（金）

秋の自然物を使った遊びや遊具を使った運動遊びなど、先生方が環境を構成する中で、園児が自ら関わろうとする工夫が随所に見られました。幼・保・小間の保育・授業参観や意見交換の場を設定することにも力を入れ、次年度も取組の継続が決定しており、互いの教育・保育への理解が進みそうです。



大村市立放虎原こども園 10月29日（火）

運動会後ということで、運動会ごっこを中心に展開されていました。先生方の声掛け、立ち位置など「子どもに寄り添う保育」が見事でした。参観者には10の姿が表れた場面、環境構成など、参観の視点が書かれたシートが配られました。参観の焦点化がなされ、協議の際には話題の柱となり、参観者にとってもわかりやすい協議会となりました。



今後は、このような公開保育・協議会に限らず、各地域、小規模でもっと気軽にお互いの保育を見合う場ができればよいなと思っております。地域公開保育の情報発信などのお手伝いを幼児教育センターがさせていただければと考えておりますので、「公開保育をしてもいいですよ」という園がありましたら、県幼児教育センターまでご連絡ください。

～ 市町巡回研修(要録)開催中です ～



現在、約半数の市町で巡回研修が終わりました。これまでの感想を見てみますと、

- ・書き方、内容について具体的に知ることができた。
- ・第三者が見たときに、伝わりやすいように書くことを心掛けたい。

などがありました。開催して感じることは、他園の要録を見ることがないので、そこで刺激を受けている先生が多いようです。自園と比べることで見えてくるものもあり、見やすさ、内容の違いからわかることも多いようです。

今年度、要録を書く先生方にとって、有益な研修になっていたならば、担当としてもうれしい限りです。今後、市町での研修会に参加されます先生方にとっても、そのように感じていただけるように尽力してまいります。

12月も終わりを迎える中、先生方もそろそろ要録のことが気になってくる頃でしょうか。特に5歳児の要録は、小学校へつなぐ大事な引継ぎ文書となります。読み手がいることを意識し、「子どもの育ち」をつなげる内容になるよう、がんばって記述してください。

(文責：高田 敦)

片付けの時間

毎日ある片付けの時間。それは、ただ片付けるための時間ではなく、片付けを通して子どもを育てる時間だと再確認しました。写真は長崎市立認定こども園長崎幼稚園で見られた子どもの姿です。



ぎゅっと絞ろう



一緒に運ぼう セーの



洗いものに使った水をあげよう



いいわっこが取れた



片付けの時間をゆったりとって、楽しく、張り切ってできるといいですね。

10の姿の自立心には「しなければならぬことを自覚し」とあります。片付けの時間はみんなで協力して、自分たちの居場所を整える気持ちよさを味わうことが大切です。

(センター長 室野)